

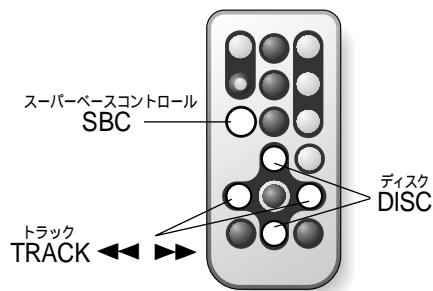
# サウンド・音場を設定する

サブウーファー出力の調整は、リヤスピーカーをサブウーファーとして活用する場合に有効となります。(P.24 参照：SBC-SW の設定を“ON” にしてください。)

### お知らせ

本体の **SBC** は、センタースピーカーの内側のパネル面にあります。  
 本体の **DISC** を押し、センタースピーカーを開いて操作してください。

●約 10 秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。



## 1 サブウーファー出力モードにして、

**SBC** を 2 秒以上押す。

## 2 項目を選び、3 調整する。

**TRACK** を押し項目を選ぶ。  
 ( **TRACK** : 逆回り )

### サブウーファー出力を調整する

#### DDBC(デジタル・ダイナミック・ベース・コントロール)

- 内部アンプの音量バランス調整(フェダー：P.24 参照)で変化しません。
- 調整中は“SUB・W 表示”が点滅し、設定されると点灯します。

サブウーファー出力の調整は、以下の出力に連動します。

- リヤスピーカーをサブウーファーとして活用する出力(SBC-SW が“ON”)
- メインイン/プリアウト リヤ

### 音量を調整する

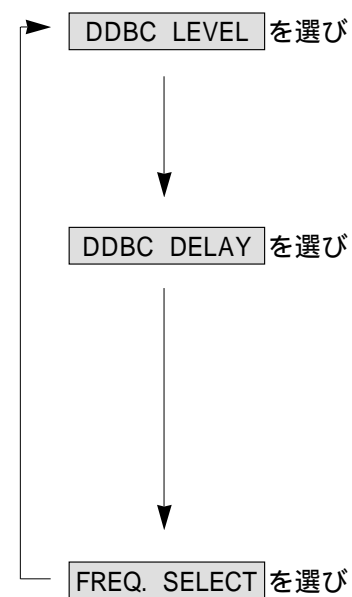
**DDBC 音量レベル**  
 初期設定：SW - LEVEL 0  
 調整範囲：- , - 10 ~ + 10  
 1 ステップは、2dB ごと

### 距離感を調整する

**DDBC ディレイ時間**  
 スピーカーとサブウーファーの音が耳に届くタイミングに時差(ディレイ)をなくして、量感のある重低音を再生します。  
 初期設定：SW - DELAY 0  
 調整範囲：- 10 ~ + 10  
 1 ステップは、0.3 ms (0.0003 秒) ごと

### 低音の厚みを調整する

**DDBC カットオフ周波数**  
 出力する低域周波数の上限(カットオフ周波数)を調整し、音の濁りやひずみを防ぎます。  
 初期設定：FREQ. OFF



**DISC** : レベルが上がる  
**DISC** : レベルが下がる  
 - : プリアウトに接続したアンプから音が出なくなる。

**DISC** : + (プラス) 方向  
 ディレイ時間が長くなる。  
 (サブウーファーの出力タイミングが遅くなる。)  
**DISC** : - (マイナス) 方向  
 ディレイ時間が短くなる。  
 (サブウーファーの出力タイミングが早くなる。)  
 0 : スピーカーとサブウーファーの出力タイミングが同じになる。  
 ●調整中は“DELAY 表示”が点滅し、設定されると点灯します。

**DISC** を押し、切り替える。( **DISC** : 逆回り )  
 OFF 100 150 200 (Hz)  
 OFF : 高音域をカットしない通常の出力。